

としよしつだより



陽光小学校
令和6年5月号

新年度が始まり、1か月が経ちました。新しいクラスには慣れましたか？図書室の使い方の授業が全クラス終わりましたので、業間と昼休みは学年関係なく誰でも自由に図書室を利用できます。たくさん本を読んで、心を豊かにしましょう。



ようこうしょうひつどくしょ しょうかい 陽光小必読書の紹介

短い物語をたくさん読むことも才能、長い物語をじっくり読むことも才能です。内容に捕われず、冊数を読むことを目標としていた多読賞に代わり、今年度から必読書に力を入れます。読書があまり得意でない人も読みやすい本を、国語の教科書で紹介されている本から選びました。必読書を全部読み終えたら、個人の貸出カードを作ります。カードがあると簡単に本が借りられるようになります。1年間で読み終わるよう頑張りましょう！



<p>1年生</p> <p>『からすのパンやさん』 かこさとし</p> <p>いずみがもりに、からすのパンやさんがありました。4羽の子もたちの意見を聞いて、おもしろくてすてきな形のパンをどっさり焼くと、お店が大忙しに！</p>	<p>2年生</p> <p>『スーホの白い馬』 大塚勇三</p> <p>道ばたに倒れていた子馬をひろって熱心に世話をし、りっぱな白馬に育てました。ある年、王様はスーホから白馬を取りあげてしまいます。</p>
<p>3年生</p> <p>『セロ弾きのゴーシュ』 宮沢賢治</p> <p>楽団のセロ弾きのゴーシュは、下手でしかられてばかり。そこで、演奏会にむけて夜おそくに家でセロを一生懸命練習していると、扉をとんとんとたたく音が。入ってきたのは…。</p>	<p>4年生</p> <p>『落語絵本 ときそば』 川端誠</p> <p>夜の屋台でそばをうまそうにたいた男。さて勘定となり、小銭を一枚ずつ出しながら「いまなん時だい？」と時間を尋ねます。</p>
<p>5年生</p> <p>『対訳 鳥獣戯画』 辻惟雄</p> <p>今からおおよそ900年前に鳥羽僧正が描いたとされ、漫画の原点ともいわれている、長さ10メートルもある絵巻「鳥獣戯画」には、兎・猿・蛙たちが人間の仕草をまねて遊び戯れる姿がいきいきと描かれています。</p>	<p>6年生</p> <p>『獣の奏者』 上橋菜穂子</p> <p>決して人に馴れず、また馴らしてもいけない生き物とともに生きる宿命の少女・エリン。憎悪と呪い、孤独と悲しみのなかでやさしく凛々しく生きる孤高の魂の物語。</p>

5月

どくしょもくひょう
読書目標

ほん
本を読む

しゅうかん
習慣をつけよう



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。



ようこうしょう よ き
陽光小 読み聞かせボランティア
 やまいも かい
山芋の会

今年度も読み聞かせボランティア「山芋の会」のみなさまによる、朝の読み聞かせが始まりました。毎月1回、月曜日の朝の学習の15分間に行っています。山芋の会のみなさま以外に、教員も読み聞かせを行っています。写真は初回の5月13日(月)の様子です。



参加者
募集中

★保護者のみなさまへ
 読み聞かせボランティアの会員を随時募集しております。見学もできますので、ご興味のある方は陽光小(TEL 658-8650)司書岡田までお気軽にご連絡ください。

ようなん
陽南ライブラリーニュースコーナー

このコーナーでは、陽南地域学校園の小中学校の学校図書館での様子や、人気の本、司書の先生がおすすめする本などを紹介します。今回は、陽南中学校です。



ようなんちゅう てづか ひろゆきこうちようせんせい
陽南中 手塚弘幸校長先生
おすすめの1冊

日本神話とアンパンマン
 著:山田永 集英社新書

日本神話を、誰もが知っているアンパンマンワールドで説明している本です。「アマテラス」は「アンパンマン」。「スサノヲ」は「ばいきんまん」。神様たちの物語とアンパンマンたちとの類似点を比較し、分かりやすく解説しています。



ようなんちゅう しよ あだち せんせい
陽南中 司書 安達先生
おすすめの1冊

もうぬげない

作:ヨシタケシンスケ ブロンズ新社

服が頭にひっかかって、ぬげなくなってしまった男の子のお話です。このまま服がぬげなかったらどうしよう…もしかしたらぬげない仲間がいるかもしれない!! 小さな子どもの「あるある」をヨシタケ流のユーモアで楽しくのりこえていきます。